

所管課ごとの審査内容や委員
間協議の結果を基に次の4点に
ついて、理事者の見解と回答を
求めました。

【理事者の見解・回答】

① ふるさと納税の今後の取り 組みの方向性について

ふるさと納税の寄付金目標額
は、以前は1億円としていたが
新年度予算においては、これま
での実績に基づき過大な予算見
積もりとならないよう、5,95
0万円とした。新たなポータル
サイトの活用や観光体験型の返
礼品など、地域の魅力を活かし
た新規返礼品の開発に積極的に
取り組み、予算の積み増しに繋
がるよう努力していく。



② 地域おこし協力隊の任期後 の処遇等について

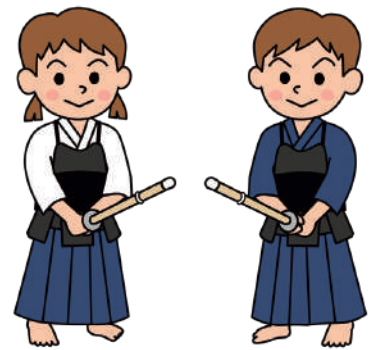
地域おこし協力隊が3年の任
期中に取得した様々な資格や得
た経験、地域との絆などが町外
に流失することは、本町にとつ
ては大きな損失であると考えて
いる。本人の意向確認も行いな
がら、任用後の定着に向けて伴
走支援していく。

③ 部活動の地域移行への進め 方について

近年は、長時間労働の是正な
ど国が推し進める「働き方改革」
によって、以前のように教員が
部活動顧問として関わっていく
事は困難となってきたので、
今後予定されている部活動の地
域移行に関して、児童・生徒や
その保護者に対し、それらの理
解に繋がるよう具体的なイメー
ジや様々な事例を提示すると
もに、令和8年度にスタートが
予定されている（仮）下川町地
域スポーツ・文化クラブへの指
導者登録が円滑に行われるよう
十分な説明を行うなど、理解が
得られるよう進めていく。

④ 公共施設の再編・統廃合等 に伴う周知と合意形成につ いて

公共施設の再編と統廃合につ
いては、該当する施設の利用者
などに対し、早期の説明と合意
形成を図りながら進めてきたが、
今後も行財政運営の効率化など
に向けてより一層、早期の周知
と説明や具体的な代替案を提示
するなど、利用者の理解を得な
がら合意形成を図り、丁寧に進
めていく。



◆審査意見

地域おこし協力隊員を始めと



田村町長ほか 理事者見解

する様々な人材について、在町
の際に取得した資格など、本町
において継続して活かしていく
ことができるよう寄り添った対
応と、（仮）下川町地域スポー
ツ・文化クラブの立ち上げに向
けて、関係する児童・生徒や保
護者が不安を抱くことがない対
応と協力していただく町民にも
十分な理解が得られ、円滑に部
活動の地域移行に大きく期待す
るものである。